

6月14日（月）

応援メッセージ企画（校長）

いよいよ最後の大会が近づいてきました。一番早いカヌー部は次の日曜日に大会を迎えます。生徒の皆さん、最後の大会に向けて調子はどうですか。

少しだけ長くなるかも知れませんが、2つの話をしますので聞いてください。

1つ目は「本気」でがんばれ、という内容です。

4月からこれまで、私はできるだけ、皆さんの大会の応援に行くようにしてきました。皆さんが真剣にがんばっている姿を見ていると、私もいっしょにドキドキしたり、嬉しくなったり、たくさんの感動をもらいました。ありがとうございます。

しかし、勝つか負けるかの試合をすれば必ずどちらかが勝ち、どちらかは負けます。陸上や水泳のように自分との戦いで記録に挑戦する種目も、いつもいい結果が出るわけではありません。

これまで試合が終わった後に悔しくて涙を流している生徒を何度も目にしました。試合に負けたり、思うような結果が出せずに悔しくて涙を流した生徒には、もしかしたら失礼かも知れませんが、人生という長い目で見たときには、その悔し涙も皆さんにとっては決して悪いものではないと思っています。

悔しくて涙が出るのは、それだけ本気になって試合に臨んでいるからです。大人になった時、中学生の時期に何かに本気になって、思い通りにならなくて涙を流した、また試合に勝ったり自分の目標としていた記録が出て本気で喜んだ、嬉しかった。

皆さんには、そんな経験をたくさんしてほしいと願っています。中学生のときにそんな経験をたくさんした人は、大人になったときに、心が豊かで人の気持ちの分かる優しい人になれると思うからです。

生徒の皆さん、残り限られた時間ですが、1日1日の練習に真剣に取り組み、試合が終わった時に、自分は、自分達はやりきったと思えるような最後の大会を迎えてください。

2つ目は「感謝」することについてです。

昨年は夏の総体がありませんでした。昨年度は多くの3年生がとても悔しい気持ちだったと思います。今年はいまのところ実施できそうです。3年生の皆さん、これまで2年間部活動がんばってきて、最後の大会というステージがあることに「感謝」です。

それと、これまでいっしょに練習をしてきた友達、休日も返上で皆さんの部活動を見てくれた顧問の先生、そして何よりも皆さんのお家の方に感謝です。朝起こしてくれたり、お弁当を作ってくれたり、落ち込んでいるときには心の支えになってくれたかもしれません。数え上げればきりが無いほど、皆さんは家族やまわりの人に支えられてきたはずです。皆さんが将来、親になったときにわかんと思います、皆さんが試合をしているときなどは、皆さん以上にドキドキして緊張しながら皆さんのことを見守っていてくれたと思いますよ。（引退したときに家族に「ありがとう」が言えると素敵ですね）

人は、自分のことしか見えない、自分のことしか考えられない「心」から、少し自分のまわりの人に目をむけて、「ありがとう」という気持ちがもてる「心」になったとき、人として大きく成長します。皆さんにとって、心が成長するような最後の大会にしてください。がんばれ、小見中生！